

## ●アメリカ版最新ウェットシステム(ニンジャウェットシステム)

「クリーニングを水で!!」あたり前のようにだがかかなか難しい。「永遠のテーマ」と言うべきかも知れない。

しかし、このテーマに山本製作所とツ-エム化成が真っ向から取り組んだ。しかもアメリカで!苦勞の末、ようやく認めてもらえるウェットシステムを完成させた。アメリカのウェットでの要求は「何でも洗えて」「高速脱水」で「タンブラー乾燥」が出来て、色泣きが無い、スレが無い、縮みが無い、シワが無い、しかもドライクリーニングの様な仕上がりでと言った大変高度な要求でした。

これを、ほぼ達成出来たのが「ニンジャウェットシステム」と考えております。ウェットクリーニングが革新されます。是非、革新してみてください。

## ●ニンジャウェットシステム

- 山本製作所のシステムと連結・連動しています。
- スプレー加工機が付いており、撥水・防虫加工など自在です。
- この機械は洗濯乾燥機です。
- ニンジャウェット(ウェット洗剤)
  - ①色泣き・移染防止剤配合
  - ②縮み防止剤・スレ防止剤配合
  - ③仕上げ性向上剤配合
  - ④洗浄強化剤配合

- 加工剤は、以下の薬剤を用意しております。

A、C<sub>6</sub>F<sub>13</sub>のフッ素系水系撥水剤

B、防虫剤(水系)

ウェットクリーニングで一点単価上昇の一助にして頂けると幸いです。



株式会社 ツ-エム化成

〒579-8005 東大阪市元町2丁目3番60号

TEL 072-988-0771

ツバキオイル・トレハロース・グリセリン配合

# 革新!

## ウェット 新

水洗いでも

# NINJA WET

## ニンジャウェット

### ウェットクリーニングの新時代!!

### 山本製作所と共同研究開発!!

### (ハードとソフトのコラボ完成)

株式会社 ツ-エム化成

# ニンジャウエットクリーニングシステム

このウエットシステムでは、今までのウエットクリーニングで問題となっている事を革新的に解決したシステムです。よって今までのウエットクリーニングの工程よりも時間・手間も掛かりません。実際の作業工程を以下にご説明致します。

## ① 仕分け作業

### 【衣類の選別について】

#### 《洗えない衣料》

水に浸けるだけで

- 素材や付属品、接着剤が溶ける衣料。
- プリーツ・シワ・エンボス等の加工が取れてしまう衣料。

#### 《ネットに入れて洗える衣料》

- ウール等の獣毛繊維のセーター。(ざっくり編んだもの)
- ボタンや装飾品が、引っ掛かる可能性のある衣料。
- シルク・高級綿・レーヨンのみの衣類。
- 型崩れし易い衣料。
- 表面に細かな細工があり、擦れることにより破損の可能性のある衣類。

#### 《ネット無しで洗える衣料》

- 綿・麻・ポリエステル・アクリル・ナイロンなどの化学繊維が100%の衣類。
- ポリエステル・ウールの混紡品・ウール100%のニット以外の衣類。
- 上記以外の混紡品の衣類。



4kg 16kg  
ニンジャウエット



WD-160S(洗濯乾燥機)

※上記に洗浄可能と記載されている衣類の中には、非常にデリケートな素材・染色・加工が施されている衣類があります。危険な衣類又は危なそうな衣類はネットに入れ白物、中間、黒物の分別をして下さい。

## ② 洗浄プログラム

山本製作所製・WD-160S (衣類8kgに対して)  
(※洗える半分量の衣類を洗って下さい。)

洗浄工程	準備	衣類投入	予洗	そのまま →	本洗	濯ぎ	高速脱水	ほぐし	一時停止	乾燥
温度			30℃		30℃					55℃
時間	30秒		1分		2～4分	2～3分	1分	30秒		20分
水位	2/10	2/10	2/10		6/10	8/10				
回転	通常回転		ソフト		ソフト	ソフト	強脱水	弱回転		通常回転
投入薬剤 ニンジャ ウエット のみ投入	150cc を自動投入 して混合。									
備考	扉を開けて 衣類を投入 する。	衣類を濃厚 なニンジャ ウエットに なじませる。	排水せず そのまま液 位を中水位 に上げて洗 浄。	排水せず そのまま液 位を中水位 に上げて洗 浄。	停止したま ま排水再度 給水して高 水位で濯ぐ。	停止したま ま排水後、高 速状態で1分 間絞って下 さい。			タンブラー が出来ない 物は取出し て静止乾燥。	完全乾燥出 来る衣類は そのまま 乾燥する。

- I、準備工程で、洗剤を自動投入して十分に攪拌し、高濃度の洗浄液を作ります。
- II、準備工程終了後、一時停止するので、扉を開けて衣類を入れます。
- III、予洗の工程で、高濃度の洗浄水に、一度衣類を馴染ませます。
- IV、水位を排水することなく中水位まで上げて、ソフト洗浄をする。
- V、洗浄後、ワッシャーを停止したまま排水のみを行い、排水後再び給水して濯ぎをする。
- VI、濯ぎ終了後、排水してから高速脱水を1分して下さい。  
(高速になってから1分間完全に絞り切して下さい。)

(※上記の工程を必ず守って下さい。そうでないと性能を発揮出来ません。)

## ③ 乾燥・仕上げ

- 仕上げ性の都合により、処理量の2倍以上の性能を持つタンブラーで乾燥するのが望ましいです。  
(※10kg衣類の場合、20kgタンブラーを使用)
- 乾燥工程の出口温度は、55℃以下に設定して下さい。
- タンブラー乾燥が出来ない衣類は、静止乾燥機で乾燥して下さい。
- セーター・ニット類は、軽くタンブラー乾燥(5分～8分)して、静止乾燥して下さい。
- フランネル調生地や天然繊維と合織の交織品は静止乾燥が望ましいです。
- シルクや麻100%は仕上げ性向上のため、7割ほど乾燥させてから、静止乾燥の方が望ましいです。
- スーツ・上着類は、7～8割(肩部分にまだ若干水分が残るくらい)乾燥させた後、人体プレスに掛けるか静止乾燥機で乾燥の方が生産性が上がります。
- ズボン・スラックスは、完全乾燥出来ます。
- ネットに入れて洗浄した衣類を、タンブラー乾燥する時は、ネットから出して乾燥して下さい。
- 乾燥により、縮み・シワが発生しても、従来のウエットクリーニングに比較すると、格段に修正が簡単に行えます。

## ④ 加工

- 撥水加工も防虫加工も、プログラムする事により、乾燥工程の手前で行う事が出来ます。
- 特殊なスプレーノズルにより、ムラ無く均一に加工出来ます。
- 撥水加工は、乾燥後、プレスしたりアイロンで熱キュアリングすることにより、より強効に効きます。

## ⑤ その他

- 山本製作所製WD-160Sは、洗濯乾燥機なので、ウエットクリーニングだけではなく、通常の水洗機として白物を洗浄したり乾燥機として使用したりなど、汎用性が高い機械となっております。プログラムも100通りの設定が出来ますので、あらゆるシーンで活躍致します。